

# 全国から150余名が参加

## 第38回沖縄大会を盛会に開催

去る六月二十五日(金)、第三十八回日資連全国大会が、新たに日資連に加盟した沖縄県の美ら海水族館に程近い「沖縄残波ロイヤルホテル」を会場に約百五十名の参加により開催された。

大会は、沖縄県ゼロエミッション事業協同組合の玉城理事長を実行委員長に、下田美智代理事の名司会により幕を開け、会長挨拶、総会報告、新役員紹介、紺野武郎日資連直前会長の表彰と続き、大会決議の宣言は通例設営地区青年部が担当するところ、沖縄県ゼロエミッション事業協同組合に青

年部が無いため、今年度群馬県から選出された武井大輔日資連新青年部長が担った。次期大会開催地については、開催地は関東、設営を群馬県という事で、茂木群資連副会長が挨拶に立った。

来賓の方々は日資連特別顧問の秋元司氏を始めとする国会議員、沖縄県知事、那覇市長の皆さんは、折からの参院選によりおいで頂けなかったが、地元読谷村の石嶺傳實村長が参列され、第二部の記念講演での国指定重要無形文化財「組踊」伝承者 神谷武史氏の重厚な舞踏に続く演奏での指笛

の合いの手が、生の沖縄を堪能させてくれた。続く懇親会も沖縄民謡のアトラクションで盛り上がり、地元の金城繁雄理事による沖縄踊り(カチャーシー)の中締めで幕を閉じた。

今回の沖縄県ゼロエミッション事業協同組合は組合員が四社でほぼ一年前に発足したばかりであるが、全国大会設営をやり遂げるパイオニア精神に感服するばかりである。

